

令和4年度 多文化 Opinion Exchange

災害時の外国人支援～共助の担い手としての外国人住民～

災害時の外国人支援にかかる担い手として活躍されている外国にルーツのある皆様をパネリストとしてお招きし、それぞれのご活動についてご紹介いただいたあと、パネルディスカッションを行います。地域の多文化共生の推進のための外国人住民の役割について学び、考える機会となれば幸いです。

定員
400名

令和5年1月10日（火）

14：30～17：00

Zoom Webinar

｜ファシリテーター｜

明治学院大学 教養教育センター 准教授 長谷部 美佳 氏

｜パネリスト｜

総社市 人権まちづくり課 国際交流推進係 譚 俊偉 氏

東北大学 災害科学国際研究所 助教 ゲルスタ・ユリア 氏

株式会社朝日工業 代表取締役 田簀 真司 氏

ハー・タン・チュック 氏



／
申
し
込
み
／



〈主 催〉

〈お問い合わせ〉



一般財団法人

自治体国際化協会

多文化共生課 担当：サラ・山村

電 話 | 03-5213-1725

メー ル | tabunka@clair.or.jp

｜ ファシリテーター ｜

明治学院大学 教養教育センター 准教授 長谷部 美佳 氏

法政大学文学部卒、英国イーストアングリア大学大学院ジェンダー分析と開発修士修了、東京都立大学大学院社会科学部社会科学研究科社会学専攻博士課程満期退学。東京外国語大学世界言語社会教育センター特任講師（2011年～2018年）、明治学院大学非常勤講師を経て現職。専門は社会学（移民とジェンダー論、多文化共生、ボランティア学）。神奈川県外国人集住地域で生活相談中に東日本大震災の発災を経験。発災後、外国ルーツの二世世代の若者がベトナム語・中国語で「エレベーターが使えない！」という張り紙をして歩いているのを見守る。二世世代の若者を中心とした「防災グループ」に参加した経験がある。

｜ パネリスト ｜

総社市 人権まちづくり課 国際交流推進係 譚 俊偉 氏

1973年ブラジル・サンパウロ生まれ。1996年に日系人の妻と来日。2009年に「多文化共生推進員」として総社市人権・まちづくり課国際・交流推進係に嘱託員として雇用され、現在は正職員として外国人住民から幅広い相談を受ける。2010年には外国人市民団体を立ち上げ、会長に就任。総社市の多言語防災マニュアル作成に携わる他、「外国人防災リーダー」としても活躍している。

東北大学 災害科学国際研究所 助教 ゲルスタ・ユリア 氏

ドイツ出身。日本への留学中に東日本大震災を経験。一度ドイツに帰国したあと、2013年から上智大学へ再び留学し、プロジェクト「東北からの声」に参加。被災地に通い、仮設住宅で話を聞いた経験から「被災地のコミュニティづくり」に関心を持ち、東日本大震災によるコミュニティの変化とコミュニティづくりの中の地域的な文化について、宮城県の名取市と福島県の浪江町を比較研究する。

株式会社朝日工業 代表取締役 田簀 真司 氏

ハー・タン・チュック 氏

尼崎市で機械部品・自動車部品の加工や機械検査を行う。2015年からベトナム人技能実習生の受入れを開始し、事業規模拡大をはかる。2022年2月現在、従業員17名のうち、特定技能1名、技能実習生3名、日本人の配偶者等1名の計5名の外国人を雇用。ハー・タン・チュック氏は、技能実習生を経て現在は特定技能として働きながら尼崎市消防団に入団し、防災訓練や非常事態宣言時の広報・啓発活動などで活躍している。

｜ 当日のスケジュール ｜

内 容	発表者・進行
開会・挨拶	
基調講演	長谷部 美佳 氏
活動紹介	①譚 俊偉 氏 ②ゲルスタ・ユリア 氏 ③株式会社朝日工業
途中休憩	
パネルディスカッション	進行：長谷部 美佳 氏 登壇者：上記4名
質疑応答・閉会	



その他詳細は
ホームページからも
ご確認いただけます